

令和2年度 市政アンケート調査 集計結果活用状況

(令和3年3月末時点)

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第1回	「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について (住宅都市局 みどり活用課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「セントラルパーク基本計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用してきた。 ・「セントラルパーク構想」は、県をはじめ、市の公園、文化財、観光部署など複数の関係部署が密に連携しながら取り組みを進めている。調査結果は、関係部署と共有し、各部署における事業実施の際の基礎資料として活用している。 ・季節の祭りについては、現在も将来も共通して利用ニーズが高いとの調査結果を踏まえ、福岡城さくらまつりや福岡城梅まつりなど、既存イベントの内容を充実させるとともに、多様な民間イベントの受け入れ、季節を通じた賑わい創出に取り組んでいる。また、春、夏、秋の季節のイベントをパッケージ化したイベントガイドを作成するなど、情報発信についても強化している。 	「セントラルパーク基本計画」の成果の進捗管理や、駐車場の再編などの各種事業を検討する際の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「熱中症対策」について (環境局 環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を基に、重点的に啓発を進めるべき対象や啓発内容について検討を行った。 ・調査結果は関係部局と共有し、各部局内での今後の熱中症対策事業を検討する際の基礎資料として活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を基に、よりニーズの高い啓発内容や効果的な広報手段を検討する予定である。 ・今後の熱中症対策事業を検討するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「環境保全の意識」について (環境局 環境政策課)	「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の成果指標の数値として活用するとともに、調査結果を基に環境保全に関する広報・啓発を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の成果指標の数値として活用する。 ・環境保全に関する広報・啓発を行うにあたり基礎となる経年比較や年代比較等の資料として活用する。
	「墓地・納骨堂」について (保健福祉局 生活衛生課)	福岡市における墓地・納骨堂の需給状況についての基礎資料として、調査結果を活用した。	墓地・納骨堂の需給バランスを分析し、今後の基礎資料とする予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第2回	「省エネルギーと再生可能エネルギー」について (環境局 環境・エネルギー対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型のライフスタイルへの転換を促進する「ECOチャレンジ応援事業」のエコアクション検討時の参考資料として調査結果を活用した。 ・住宅用エネルギーシステム(蓄電池・家庭用燃料電池・V2H・太陽光発電システム・HEMS)導入促進のための施策の検討に活用した。 ・次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車)導入促進のための施策の検討に活用した。 	<p>左記の「ECOチャレンジ応援事業」や「住宅用エネルギーシステム導入促進事業」、「次世代自動車普及促進事業」により得られるデータなどと合わせて、家庭での省エネ促進や再生可能エネルギー導入拡大などに向けた、効果的な施策展開を検討するための基礎資料とする。</p> <p>また、脱炭素社会の実現に向けた、「福岡市地球温暖化対策実行計画」の改定の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。</p>
	「情報通信の利用状況」について (総務企画局 ICT推進課)	問11で尋ねた「インターネットでできる福岡市の手続き」の認知度向上のため、市ホームページやメールマガジンで定期的に情報発信を行った。	行政手続きのオンライン化をはじめとする情報化の取り組みを拡充するための基礎資料とし、市民の利便性向上を図っていく予定である。
	「防災への意識」について (市民局 地域防災課)	市民の防災への意識に関する現状を把握することで、効果的な防災啓発の取り組みを検討するための参考資料として、調査結果を活用した。	引き続き、防災啓発の取り組みを拡充するための参考資料とし、市民の意識向上を図っていく予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第3回	「道路整備」について (道路下水道局 道路計画課)	「道路整備計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用している。	次期「道路整備計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「自転車損害賠償保険等への加入状況」について (市民局 防犯・交通安全課)	自転車損害賠償保険等への加入状況の現状を把握し、効果的な周知・啓発を実施するための基礎資料として調査結果を活用している。	・「福岡市自転車活用推進計画」の成果指標の数値として活用する予定である。 ・引き続き、自転車損害賠償保険等への加入促進に向けた基礎資料とし、周知・啓発を図っていく予定である。
	「福岡市の国際化」について (総務企画局 国際政策課、国際交流課)	【福岡市の国際交流と姉妹都市交流について】 国際交流事業・姉妹都市交流事業を企画する際の基礎資料として活用している。 【日本人と外国人の共生について】 外国人住民との共生を進めるための基礎資料として、調査結果を活用している。	【福岡市の国際交流と姉妹都市交流について】 姉妹都市に対する認知度が、都市によって大きく違うことから、引き続き、認知度向上を図るため、姉妹都市のPRを広く実施していく予定である。 【日本人と外国人の共生について】 外国人住民との交流支援に調査結果を活用する。 令和3年度は、外国人も暮らしやすいまちづくりを進めるためのニーズ調査を行い、市政アンケートの結果とあわせて今後の取組みの基礎資料として活用する予定である。
	「ふくおかさん家のうまかもん」について (農林水産局 農業振興課)	地産地消推進事業の基礎資料として、調査結果を活用している。	ふくおかさん家のうまかもん事業者認定事業など、地産地消の取り組みをさらに推進していくための基礎資料とし、より効果的な事業内容の検討材料として活用する予定である。
	「博多湾の海底ごみ」について (農林水産局 水産振興課)	・博多湾の海底ごみ削減に向けた市民啓発事業「FUKUOKA おさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ！～」は、海底ごみ・リデュースについての市民意識の向上を成果指標としており、調査結果を基礎資料として活用している。 ・広報物の制作やイベントでの呼びかけなど、啓発を効果的に行うための参考資料として活用している。	・今後も継続して調査を実施し、事業成果を図るために活用していく予定である。 ・引き続き、イベントでの呼びかけなど、啓発を効果的に行うための参考資料として活用していく予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第 4 回	「地域の活動やまちづくり」について (市民局 コミュニティ推進課)	コミュニティ施策の推進にあたり、市民の地域活動への参加状況などについて参考として活用した。	自治協議会や自治会・町内会の位置づけ及び地域への支援のあり方について検討している「共創のまちづくり検討委員会」の資料として使用する。 また本市のコミュニティ施策全般の見直しや新たな施策の検討を行ううえで、基礎データとして活用する予定である。
	「図書館の利用」について (教育委員会 総合図書館運営課)	図書館運営の基礎資料として調査結果を活用した。	福岡市総合図書館新ビジョンの推進に向けての参考資料として活用する予定である。
	「福岡市の行政運営の取り組み」について (総務企画局 行政マネジメント課)	・「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での参考として活用した。 ・次期「行政運営プラン」策定の基礎資料として、調査結果を活用した。なお、「市民とのコミュニケーションの推進」、「行政手続きの利便性向上」の満足度については、「行政運営プラン」の取組方針の指標として数値目標を定めている。	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での基礎資料として活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第5回	「住宅用火災警報器」について (消防局 予防課)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の市内設置状況等調査の基礎資料として活用した。 ・約7割の方が住宅用火災警報器の交換目安時期について「知らなかった」と回答したことから、住宅用火災警報器の維持管理に関する啓発物を作成するとともに、出前講座やマスメディアなどでの広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「住宅用火災警報器」の設置・維持管理に対する市民の意識の傾向を把握するための基礎資料とするとともに、今後の広報の方法を検討し、市民の防火意識の向上に活用する予定である。 ・調査結果を総務省消防庁への報告に反映させる予定である。
	「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について (水道局 総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果なども踏まえて、関連する事業が着実に実施できるよう、第2次福岡市水道中期経営計画を策定した。また、節水意識及び水道行政に対する満足度の数値を、福岡市水道長期ビジョン2028及び第2期中期経営計画の成果指標として活用した。 ・「安全でおいしい水道水プロジェクト」の基礎資料として、調査結果を活用した。 ・問7で尋ねた「水道水の安全性についての不安な理由」を元に、貯水槽管理に関するニーズの把握を行い、事業の検証及び今後の取り組みに活用した。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識、満足度の結果を分析し、より市民のみなさまに伝わる水道広報の検討に活用する予定である。 ・「水道水の安全性」など、水道水質に関するお客さまの意識の変化を経年的に把握し、「安全でおいしい水道水プロジェクト」の取り組み状況の検証等に活用する予定である。 ・引き続き、貯水槽管理に関するニーズを把握し、これまで行ってきた事業の検証及びニーズに合わせた情報発信を行い、市民のみなさまに安全で良質な水道水をお使いいただけるように活用する予定である。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析し、事業参加を呼びかける有効な広報手段の検討に活用する予定である。
	「『食』の安全・安心」について (保健福祉局 食品安全推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「第9次福岡市基本計画」施策3-7の成果指標として活用している。 ・「福岡市保健福祉総合計画」健康・医療分野基本目標3の成果指標として活用した。 ・「令和3年度福岡市食品衛生監視指導計画」策定の基礎資料として活用した。 	福岡市食品衛生監視指導計画策定、食の安全安心に係る市民啓発事業のテーマ選定時の基礎資料として活用する予定である。
	「消費生活」について (市民局 消費生活センター)	「消費生活センターの認知度」については、「第2次消費者教育推進計画」の成果指標として位置づけ、福岡市消費生活審議会及び福岡市消費者教育推進会議において、毎年度、計画の進捗確認を行うとともに、すべての集計結果については、毎年度作成する「事業概要」に掲載の上、本庁・各区役所で市民の閲覧に供するほか、審議会や推進会議の委員にも配付し、効果的な施策・事業実施のための基礎資料としている。	コロナ禍で、市民の生活様式や消費行動が激変する中、消費生活センターに寄せられる相談の動向に加え、幅広い市民の消費生活実態を把握することにより、消費者被害の未然防止に向け、効果的な消費者教育・啓発を実施するための基礎資料として活用する予定である。

<p>「南区の桜原」について (南区 企画振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none">・「桜原」の認知度を把握し、効果的な広報を行うための基礎資料として調査結果を活用している。・「桜原」の魅力を発信するため、問31「桜原のエピソードを全国的に広める効果的な取り組みについて」の回答を参考に、桜原賞短歌や桜原フォトコンテスト募集時の広報に力を入れた。	<p>現在、第9回桜原賞短歌、第3回桜原フォトコンテストの作品を募集しており、ホームページやSNSを活用しながら広報活動を行っていく予定である。</p>
-----------------------------------	--	--

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第 6 回	「家庭ごみ」について (環境局 計画課、家庭ごみ減量推進課、事業系ごみ減量推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理基本計画の取組指標として調査結果を活用しており、調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに、ごみ減量施策検討の基礎資料として活用した。 ・リサイクルへの取り組みが進んでいない雑がみについて、雑がみ回収促進袋を作成し、地域への全戸配布、区役所等での配布を行った。 ・「福岡エコ運動」の認知度について、同運動の成果指標の数値として活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の3Rの実践度などは、取組みの進行管理を行ううえで重要な指標であり、今後も経年変化を把握するとともに、新規施策の検討にも活用していく。 ・古紙のリサイクルを推進するための基礎資料とし、市民の意識の向上を図っていく。 ・プラスチック製品の使用状況や使用量を減らせると思う製品についての調査結果を、今後の事業展開の基礎資料として活用する予定である。 ・「福岡エコ運動」の市民への浸透具合を計る資料として活用することにより、効果的な啓発手法の導入を検討していく。
	「福岡市の広報活動」について (市長室 広報課)	市政だよりの特集テーマの選定や、ホームページの運用等において参考とした。	今後の市政だよりの発行や、ホームページ・LINE公式アカウントの運用において、調査結果を活用する予定である。
	「ユニバーサル都市・福岡」について (総務企画局 企画調整部)	福岡市基本計画において、「ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標の数値とするとともに、取組みの基礎資料として活用している。	福岡市基本計画において、令和4年度の目標値を「ユニバーサルデザインの概念の理解度」70.0%、「ユニバーサルデザインの取組みへの評価」65.0%と設定し、事業の進捗管理を行っており、引き続き、調査結果を活用して効果的な事業実施に努めていく。
	「消防団」について (消防局 警防部消防団課)	消防団の認知度等の現状を把握し、効果的な周知・啓発を実施するための基礎資料として調査結果を活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団幹部会議等において、アンケートで得られた消防団に対する市民の認識を共有し、今後の消防団員確保の取組や運営に活かす予定である。 ・「消防団員確保に向けた広報検討会」を開催し、アンケート結果を踏まえた広報活動に取り組んでいく予定である。